

ノイエスだより

ノイエス朝日(朝日印刷工業株式会社)
 前橋市元総社町六七番地
 電話 027・2555・3434
 FAX 027・2555・3435

先日、NHKのE.T.V特集で「暗黒のあなたの光明」文明学者 梅棹忠夫がみた未来」を興味深く見た。

梅棹忠夫は、大阪に国立民族学博物館を創設し、日本民族学研究所の礎を築き、比較文明学者として数々の業績を残し、昨年九十歳で亡くなった。大阪と生地京都を根拠地として世界六十か国以上を探検調査し、著書は二四〇冊にも及んだ。

この放送では、今回新たに発見された未刊、幻の書ともいわれる「人類の未来」の資料に焦点をあてている。

そこには半世紀前から地球規模のエコロジーの視点から人類の未来を予測し「暗黒のあなたの光明」を模索する姿があった。

東日本大震災後、多くの日本人が感じている社会や毎日の生活への不安、文明社会の価値観の揺らぎの中から私たちはどこに光明を見出したらよいか・・・。作家、博物学者の荒俣宏の案内で宗教学者の山折哲雄を訪ねたりして、その答えを引き出そうとしていた。答えらしき言葉はわからずじまいであったが、数日前に本屋でKAWADE

夢ムック「梅棹忠夫」地球時代の知の巨人」を買って目を通していら、そこに編集者が「光明ってなんですか?」という質問に梅棹は「何の役にもたたくことをするこつちゃ」遊ぶことができれば人類は滅亡を免れるかもしれない」と言った・・・と書いてあった。編集者が原稿をもらいに行くと、「外交というのは、なんの目的もなく人を訪れることや」と当時、官僚を相手に民族学博物館建設の交渉をしていた自分自身に言い聞かせるようだったとも書いている。

「何の役にもたたくこと」「遊び」の本質の部分を読み違えては困るが、確かに社会が不安定な時や個人的に不安定な時は、一歩退いて違った空間で無の境地になったり、遊びの心を思い出してみることは「暗黒のあなたの光明」の存在を感じられるきっかけになるかも知れないと思った。人は病や老化、経済的な格差社会と対面していかなくてはならない。震災後には生活の基盤崩壊や原発の放射能対策で情報

が乱れ飛び、何が事実で何が嘘なのか? 知識不足からくるヨウ素やセシウム、ストロンチウムの数値への不安・・・で揺らぎ続けている。足元をしつかり見て生活をしていかななくてはならないのだから、数冊の本からしつかりした知識を得て、希望をもって光明を見つけ出せるようにしたいものだ。

(武藤)

ノイエス朝日のご案内

第九回 ノイエス展

七月九日(土)～十七日(日)
 午前九時三十分～午後五時

出品作家

秋葉 健	稲葉宇香	小林 正
清水 茂	角りわ子	住谷夢幻
関次俊雄	広田義人	真下京子

東日本大震災復興支援事業 上海世界博覧会公式展示記念 石川紫草世界展

七月二十三日(土)～三十一日(日)
 午前十時～午後五時三十分

現在、沼田で「紫草」の栽培と復元を成し遂げ、制作を続けている石川貴啓氏と紫草染編作家の杉美和子さん、紫草衣装作家の半田朋子さんによる展覧会です。

私たち日本人の血の中に流れる色感、美意識をその色の中に感じると思います。手に取って、触れて古来から受け継いできた日本人の心を楽しんで下さい。

会期中、石川貴啓氏によるギャラリートークがあります。

七月二十五日(月)	午前十時三十分	展覧会場
七月二十七日(木)	午前十時三十分	"
七月二十九日(金)	午前十時三十分	"

白川昌生展 駅家の木馬

前橋の町の、忘れられていたもうひとつの物語

八月四日(木)～十日(水)
 午前九時三十分～午後五時

* 詳細については、次回のご案内でご紹介いたします。

ノイエスのティータイム

例年になく暑い日が続きます。エコ対策、省エネで寝苦しい夜を過ごしている方も多いと思います。

最近、薬局に行くくと虫除けの薬剤が多く出ています。昔からある蚊取り線香、ハエがはりつく粘着力のあるロール状のハエ取り紙、ゴキブリやダニ、ムカデ、アリ・・・そしてネズミ捕りなど。どこの家にも一つや二つ置いてあると思います。特に、畑仕事をしている人や庭仕事をしている人にとっては虫ともうまくつき合っていないかなくてはなりません。

そこで、蚊のお話です。

世界中には三〇〇種以上の蚊が生息していて、その一〇〇種程度が日本にいるそうです。

子供の頃は、蚊に刺されると祖父が塩をすり込んでくれた記憶がありますが・・・調べてみると・・・。

蚊に刺された時、血液が外気に触れると凝固してしまうので、蚊が血を吸う前に血液を凝固し難くする液を口から血管に注入し、その液が痒くなる原因だとか・・・考えるとゾッとしますが、その液は弱酸性なので、弱アルカリ性のものであれば痒みが治まるようです。食塩や海水はアルカリ性ですが食塩を水に溶かすと中性になるので出来れば食塩をそのままぬれば良いそうです。塩の浸透圧で毒素が吸いだされるとも考えられるとか・・・知らないでやっている事は結構あるものですね。ただし、肌の弱い人はゴシゴシとすり込まないようして下さい。逆効果で痕になってしまいますから。

アロマテラピー(芳香療法)・芳香植物が生み出す香り成分である精油を心身の健康と美しさを保つために役立てる、自然、植物療法の一つ)では、ゼラニウム・エジプトヤユーカリ・レモン、シトロネラ・ジャワといった植物の精油に蚊が嫌うシトロネロールという香り成分が含まれているので、「蚊よけスプレー」や「蚊よけキャンドル」を作って使用しています。あまりにも専門的すぎて・・・という方は、ゼラニウム・エジプトなどを庭や鉢に活けて窓ぎわに置いておくのも一案です。ヨーロッパでは昔から赤やピンクのゼラニウムの鉢を窓ぎわにおいてありますが、あれは虫除けと植物の香りを楽しむための意味もあるそうです。

